

NPO会員が担当する能力開発セミナー（2025年度）

- ◆能力開発セミナーとは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が開催するセミナーです。
- ◆開催詳細・申込は各センターの案内をご覧ください。
- ◆尚、経営コンサル全般(生産性向上分野を含む)のオーダーメイドセミナー・研修のご要望については、NPOテクノサポートの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

開催元	コース名	セミナー・研修内容
ポリテクセンター千葉	① 仕事と人を動かす現場監督者の育成 ～ものづくり＝人づくり～	製造現場における作業の段取りや指示、後進育成の技能継承をめざして、現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や現場を動かすための技能を習得します。 ・オリエンテーション ・任せる技術 ・製造現場監督（主任）の役割 ・自己啓発計画の作成 ・製造現場監督（主任）に求められている仕事 ・管理監督者心得69ヶ条 ・より良い現場監督（主任）
	② 実践生産性改善 ～全体最適化視点からのムダ取りでローコスト体質へ～	生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストですばやく対応するため、生産現場の見えない問題を見える化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。 ・製造業の背景 ・生産性向上のための現場運営の視点 ・生産現場の評価と視点と改善方法 ・生産現場の構築演習 ・生産性改善実習 ・改善性計画の立て方 ・まとめ
	③ 営業活動と連動した戦略的生産管理 ～受注情報活用でQCDの実現を案に～	親企業からの受注情報（予告・内示・確定・納入指示）を活用し、必要最小限の在庫で、かつ納期遵守・品質確保・コスト低減を実現し、利益体質を維持向上できるように各業務を迅速かつ連携をもって進め、企業の実力を発揮できる生産管理システムを構築するための知識と技術を習得します。 併せて、自社製品については、需要（販売）予測手法から販売計画、在庫計画、生産計画のあり方、及び適正在庫の設定方法についても習得します。 ・既存生産管理の仕組みと問題点 ・戦略的生産管理業務の構築手順 ・全体最適視点でのバランス ・まとめ
	④ 原価管理から見た生産性向上 ～製品コストが分かれば削減できる～	原価管理のコスト（費用削減）と生産性（業務効率向上）の2軸でとらえ、企業収益力向上のポイントを習得します。 1.原価管理とは（原価の3要素、原価で工程を管理する、演習） 2.標準原価と実際原価（標準原価の設定方法、直接費・間接費・材料費と労務費と経費、チャージレートの設定、間接費の配布基準、実際原価と標準原価の差異分析、演習） 3.コストを下げるには（材料費、労務費、経費、演習） 4.コスト低減と生産性向上（材料費、労務費、経費と生産性の関連、演習） 5.総合演習（演習を通じたコスト削減と生産性向上策のまとめ、演習）
	⑤ 5Sによるムダ取り・改善の進め方 ～工場現場の改善の基礎5Sと見える化～	生産現場における現場改善の技能伝承をめざして、現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。 ・概要 ・5Sによる現場の改善（5Sの考え方、モノの置き方の改善、ほか） ・ムダ取りの実践（事例紹介、赤札作戦、VM法、段取り改善、ほか） ・やさしい作業改善とコストダウン・自職場の課題を抽出し、解決策を考える。 ・改善心得37ヶ条 ・総合演習（ケーススタディ＝生産現場の改善活動事例（5S、ムダ取り、生産性向上））
	⑥ 安全確保のための現場改善手法 ～ゼロ災害に必要な安全確保のための現場改善のポイントを習得するコース～	グローバル化の加速で技術・技能の向上と安全の確保が絶対条件です。現場工程に於ける本質の見える化と改善取組を「演習」を通し習得します。 ・SEQCDの必要性：環境の変化と安全管理の課題 ・ヒヤリハット、KY & TBM活動で不足カバー出来ない領域を補てん ・「事故・トラブルデータベース」活用:失敗から改善対策を学ぶ ・「4M4E分析」:ステップアップした見える化と本質的改善 ・安全・改善活動の継続:課題解決に向き合い、PDCAを回す ・フォローアップ&レビュー
	⑦ 生産現場に活かす品質管理ツール ～QC7つ道具を中心に～	生産現場における業務の効率化・最適化（改善）による生産性向上を目指して、製造現場で発生する問題について、QC7つ道具・品質管理手法を使用し、定量的・定性的な問題分析を行い、解決していくための手法を習得します。 1) 品質管理の概要 ・品質管理の重要性 2) 製造業における品質管理技法 ・QC7つ道具の使い方 ・演習、QC7つ道具体験 3) 品質管理演習 ・活用事例 ・問題・データ分析・発表、講評 4) 総合演習（統計的な手法を用いた管理図作成、ほか）

開催元	コース名		セミナー・研修内容
	⑧	生産性向上をめざす総合的設備管理技術 ～生産性を向上するための設備管理技術のポイントを習得するコース～	設備管理の進め方について理解・実践力向上をめざして、その中で生産保全の実現に不可欠な設備診断の位置づけ及び運用方法を習得します。 ・設備管理概要：設備管理の目的、設備の劣化と修復・改良保全 ほか ・機械保全に関する用語：生産保全、保全方式、信頼性、保全性、故障解析 ほか ・設備管理システム：設備管理システムの意義・概要、サブシステムの構成と機能 ・生産保全の展開：生産保全の内容、TBM（時間基準保全）、CBM（状態監視保全） ・設備点検、診断：点検・診断システム運用フロー、関連標準、保全資材管理 ほか ・設備診断技術：技術体系、振動診断概論、設備診断方法と適用事例 ほか ・レポート作成及び討論会、質疑応答
ポリテクカレッジ 千葉	①	5Sによるムダ取り・改善の進め方	1. 生産現場の構造 2. 5S推進による現場の改善 3. ムダ取りの実践による現場改善 4. 現場改善のための指導技法 5. 日々のPDCAサイクルの大切さ 6. 改革の基本精神10ヶ条の解説 7. 付加価値とは
	②	仕事と人を動かす現場監督者の育成	1. 現場監督者（主任）の役割 2. 現場監督者（主任）に求められている内容 3. より良い現場監督者（主任）とは？（自己啓発目標の演習） 4. 演習
	③	製造業における実践的生産管理	1. 生産管理とは 2. 生産管理の評価と分析 3. 生産管理の実態 4. 生産管理演習 (1)生産期間短縮のための課題と具体化方針 (2)生産計画作成の課題と具体化方針 (3)即納を維持するための課題と具体化方針 (4)他部門と連携するための課題と具体化方針
	④	製造業に活かす品質管理技法	1. 企業の品質管理の概要 2. 品質管理技法の一つとしてQCCの物の考え方、製造工程での品質の作りこみ(4M、標準化) 3. 工程での作りこみ管理ツール活用方法と作成 4. 品質管理改善の概要と品質管理ツールの活用方法・作成 5. 品質異常措置及び未然防止のポイント 6. ヒューマンファクター品質マネジメント規格の概要
	⑤	安全確保のための現場改善手法	1. SEQCDの必要性：環境の変化と安全管理の課題 2. ヒヤリハット、KY&TBM活動で不足・カバーできない領域を補てん 3. 「事故・トラブルデータベース」活用：失敗から改善対策を学ぶ 4. 「4M4E分析」：ステップアップした見える化と本質的改善 5. 改善活動の継続：課題解決に向き合い、PDCAを回す 6. フォローアップ&レビュー
	⑥	実践生産性改善	1. 製造業の背景 2. 生産性向上のための製造現場の視点 3. 生産ラインの構築演習 4. 生産ラインの評価の視点と改善方法 5. 生産性改善実習 6. 改善計画の立て方と進捗管理方法
高度ポリテク センター	①	品質管理研修	1. 品質管理のあらまし 2. 品質検査、工程での品質の作りこみ・標準化 3. 品質を高める（品質改善・品質管理ツールの活用） 4. 品質異常の再発防止及び未然防止、ISO国際規格及びJIS
	②	製造業における生産性診断に基づく改善へのアプローチ	1. 生産性診断と改善へのアプローチ 2. 生産性診断と課題設定 (1)全体最適化視点での生産性診断と課題設定…各生産性診断リスト (2)部門別の生産性診断と課題設定…部門別職場別生産性診断シート 3. 生産性を向上する改善策とアクションプラン作成 4. 生産性向上の全社目標と部門目標と改善の進捗管理方法
	③	DXの進め方と業務改革手法	1. DXの捉え方 (1)業務改革の姿を描くことの重要性 (2)目的と手段の取り違え 2. 業務改革の姿の描き方 (1)業務問題の特性 (2)問題分析手法の考え方 (3)問題分析・プロジェクト目的設定・手段検討（グループ演習） 3. 改革推進にあたっての考慮点 (1)プロジェクトの改革方針とシステム構築の考え方 (2)ウォーターフォール開発とアジャイル開発の特性